

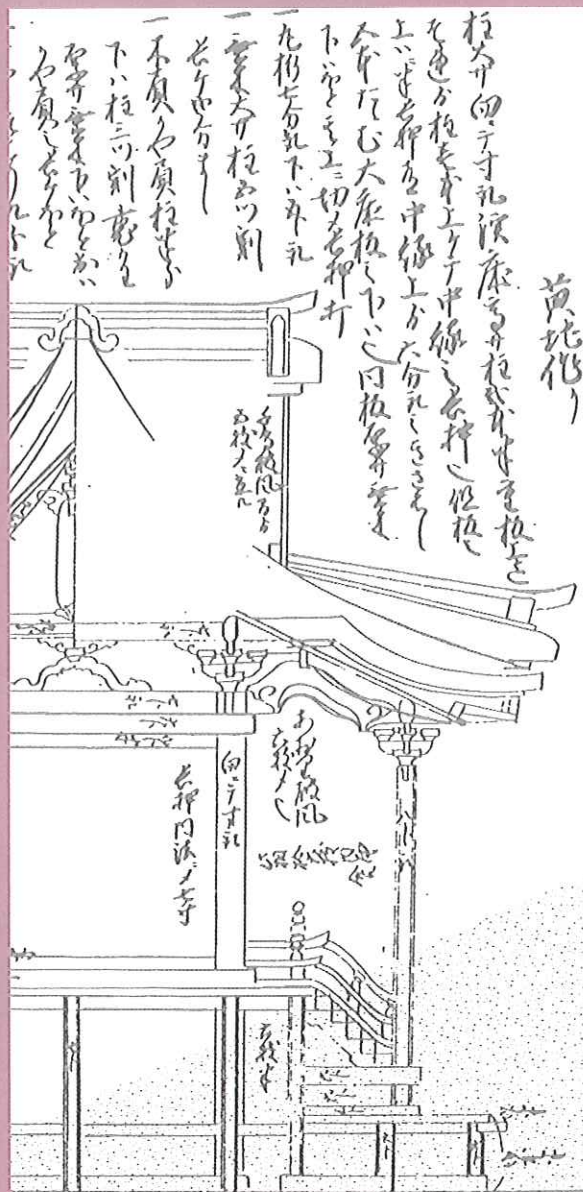
木割表現論

山岸 吉弘（日本大学助教）著

A5判上製函入 本文三〇〇頁 図版八〇点

本体価格一一、〇〇〇円＋税

ISBN 978-4-8055-0731-5 C3052



建築を文字と数字で表す「木割」から、
 建築にまつわるあらゆる要素を記録する「木割書」へ——
 中世より伝わる日本建築の書を読み解く。

「木割」とは、主に数的比例関係を用いて建築を表現する形式や理論を指し、中世中頃から近世にかけて成立した領域である。

「木割書」と呼ばれる史料はこの「木割」を記録したものであると同時に、装飾の図案や生活用品の雛形など広く建築に関わる要素が記されている。やがて大工家系の相伝や交流を背景に、出版技術の隆盛以降は木版本として流通し、ひとつの文化を育んできた。

本書は「木割書」の中でも、未だ詳細が解明されていない「王子造り」という建築を主眼点に、多様な原典を辿りながら「木割書」の世界をより深く追求する意欲的研究である。

木割の抽象的・理論的な性格から、一面で実際の建築や生産の在り方による制約から逃れ、木割書は創造的な発展を遂げた。（「終章」より）

目次

序章	本書のねらい — 比例と形式 —
第一章	木割書の研究課題
第一編	木割の研究 — 比例 —
第二章	建築規模の変化
第三章	柱—組物—垂木の相互関係
第四章	実寸と比例の差異
第二編	王子造りの研究 — 形式 —
第五章	王子造りの技法とその概念
第六章	王子造りの神社建築としての特質
第七章	せき棟造りと王子造りの差異
第八章	王子造りの名称について
終章	研究の総括
初出一覧	
あとがき	
木割書索引	
語句索引	

〈著者略歴〉

山岸 吉弘 (やまぎし・よしひろ)

1980年生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学大学院理工学研究科修士課程修了、同博士後期課程単位取得退学後、『王子造りの研究』で同大学より博士（建築学）を取得。早稲田大学理工学研究所助手、東京大学大学院工学系研究科特別研究員を経て、現在は日本大学工学部建築学科助教。専門は日本建築史。

〈関連書籍〉

きくだきのちゆうもん 木碁之注文

木碁之注文研究会 編著／中川 武 監修 本体価格 22,000 円＋税
A5判上製函入 2分冊 本文 560 頁 挿図 254 点
ISBN 978-4-8055-0691-2 C3052

近世在方集住大工の研究

高橋恒夫 著 本体価格 48,000 円＋税
B5判上製函入 本文 644 頁 挿図 653 点
ISBN 978-4-8055-0617-2 C3052

書院造と数寄屋考

鈴木 亘 著 本体価格 22,000 円＋税
B5判上製函入 本文 368 頁 挿図 65 点
ISBN 978-4-8055-0728-5 C3052

萩藩江戸屋敷作事記録

作事記録研究会 編 本体価格 33,000 円＋税
B5判上製函入 本文 568 頁 口絵 4 頁 附録図 10 枚
ISBN 978-4-8055-0695-0 C3052

お取り扱いは

中央公論美術出版

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7

電話 03-3561-5993

FAX 03-3561-5834

H P <http://www.chukobi.co.jp/>